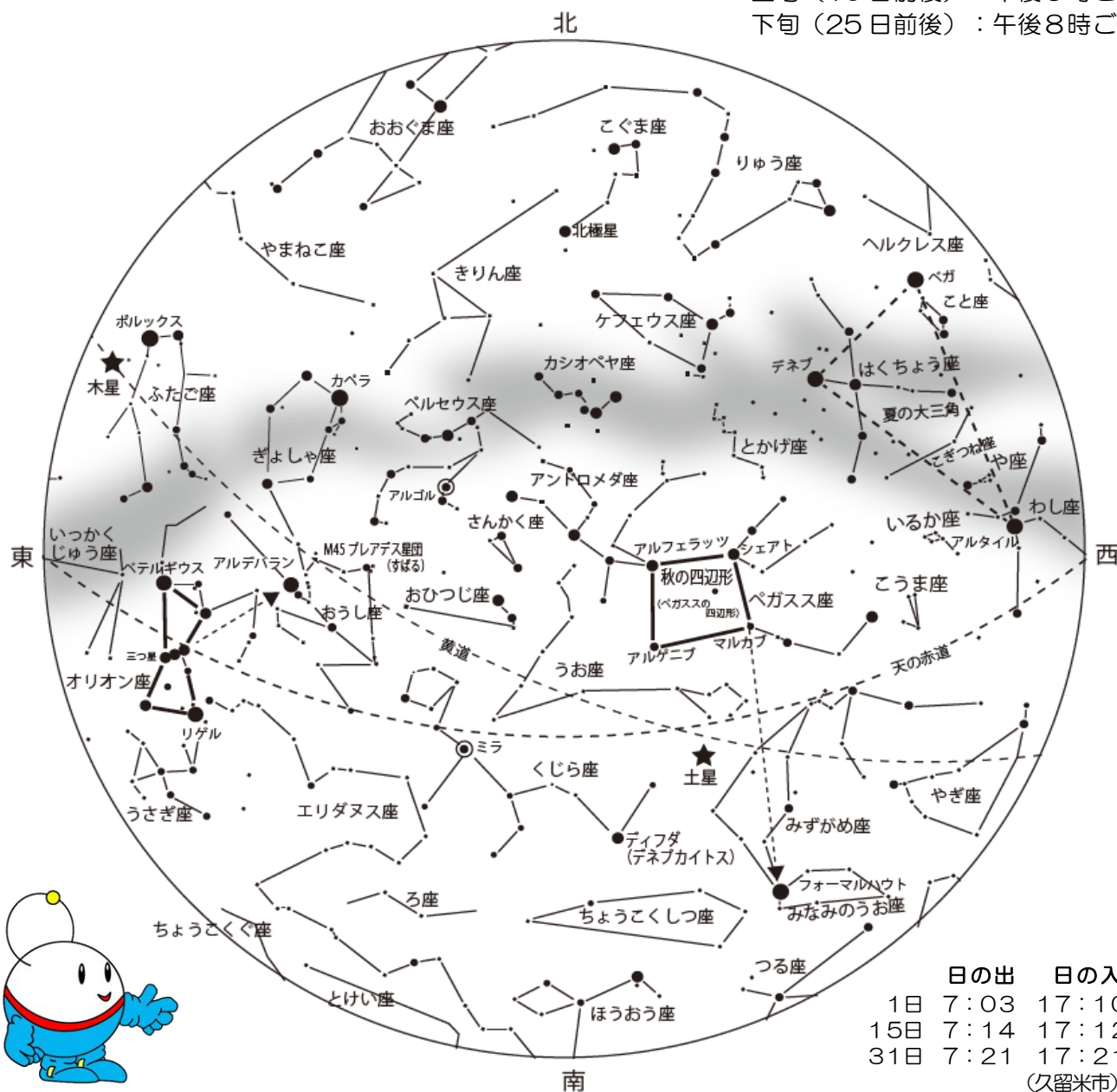


12月の星空さんぽ



下旬（25日前後）：午後8時ごろ



今月の22日は冬至を迎えるため、夜が長く、長い時間星空を見ることができます。天気の良い日には、温かい服装で、ゆっくりと12月の星空を眺めてみてはいかがでしょうか？

《12月の天文カレンダー》

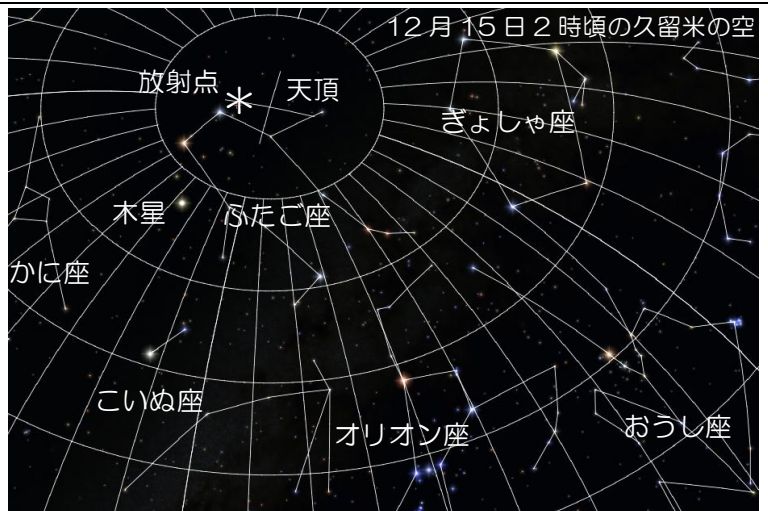
日	曜	天 文 現 象	日	曜	天 文 現 象
5	金	○ 満 月 (08:14)	20	土	● 新 月 (10:43)
12	金	◐ 下 弦 (05:52)	22	月	冬 至
14	日	ふたご座流星群が極大(17時頃) (見頃は13日深夜~14日未明、14日深夜~15日未明)	28	日	◐ 上 弦 (04:10)

【惑星の見え方】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

☆水星 (-0.3~-0.5 等)	: てんびん座→いて座	上旬から中旬、日の出前、南東の低い空で輝く
金星 (-3.9 等)	: てんびん座→いて座	観望に適さない。
火星 (1.3 等)	: へびつかい座→いて座	観望に適さない。
☆木星 (-2.6 等前後)	: ふたご座付近	真夜中、南東から南の空高くで輝く。
☆土星 (1.1 等)	: みずがめ座付近	宵の頃、南から南西の空で輝く。

注目の天文現象(12月) ~ふたご座流星群を楽しもう~

三大流星群の一つに数えられる「ふたご座流星群」の活動が、5日~19日にかけて見ることができ、14日の17時ごろに極大を迎えます。13日の夜から14日の明け方にかけて多くの流星が見られ、14日の夜から15日明け方にかけてが一番の見頃になりそうです。街明かりがなく視界が開けた場所では、14日の23時から15日の2時ごろにかけて、多い時には1時間あたり50個ほどの流れ星を見ることができると予想されています。15日3時ごろには、下弦過ぎの細い月が昇ってきますが、月明かりの影響はそれほど大きくないでしょう。



【ステラナビゲータ11/株式会社アストロアーツ】

ふたご座はこの季節、2時ごろに頭の真上(天頂)にあるので、深夜から未明には空の高いところを中心に、全天どこにでも流れ星が見える可能性があります。安全への備えと防寒をしっかりと整えて、流星ウォッチングを楽しんでみてはいかがでしょうか。

《天文イベントのご案内》

☆アクロス・ミュージックキャラバン in 福岡県青少年科学館

星と音楽のタベ*クリスマスコンサート*

クリスマス限定の星空解説とコンサートをお楽しみいただけるイベントです。第1部は、この日だけの特別な星空解説を、第2部は、アルパによるクリスマスにぴったりの生演奏をお届けします。

12月20日(土) 18:30~20:00(18:00開場) **要予約**

- 主 催: (公財)アクロス福岡、福岡県青少年科学館
- 対 象: 小学生以上(小・中学生は保護者同伴、未就学児の入場はご遠慮ください。)
- 定 員: 230名
- 参加費: 一般620円、児童・生徒310円
- 予 約: 11月20日(木)9:30から、オンラインにて先着順に受付を開始。



オンラインでの予約受付について

ご予約用QRコード

- ・イベントのご予約は右のQRコード、または当館ホームページよりお願いいたします。
- ・ご不明な点がございましたら来館またはお電話にてお問合せ下さい。(☎0942-37-5566)



最新の情報は、ホームページまたはお電話にてご確認ください。